

## 2013 年度 小委員会活動成果報告

(2014 年 3 月 24 日作成)

小委員会名	クールルーフガイドブック小委員会		主 査 名：近藤靖史 就任年月：2013 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (企画刊行運営委員会)		委員長名：田辺 新一 主 査 名：佐土原 聡
設 置 期 間	2013 年 4 月 ～ 2015 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	クールルーフ化による効果は、適用する地域、建物用途、断熱性能などにより大きく異なる。専門家以外の一般人にはこのことが非常に判り難いのが現状である。この小委員会では一般人にも判りやすく、クールルーフ化すべきかどうかを判断できるガイドブックを整備する。		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	主査：近藤靖史 (東京都市大学) 幹事：竹林英樹 (神戸大学)、橋田祥子 (明星大学) 委員：赤川宏幸 (大林組)、梅田和彦 (大成建設)、酒井孝司 (明治大学)、西岡真稔 (大阪市立大学)、三木勝夫 (三木 CD 事務所)、三坂育正 (日本工業大学)、村田泰孝 (崇城大学)、森山正和 (摂南大学)、吉田篤正 (大阪府立大学)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2013 年度予算	200,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	クールルーフガイドブック
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	当初の予定通り、クールルーフガイドブックを 2014 年 3 月に出版した。
委員会活動の問題点 ・課題	クールルーフガイドブックの販促について検討し、本の普及に努める。

\* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。

\*表中の「(書名)」等の赤文字は、記述を誘導するための説明である。記載の有無にかかわらず最終的には削除のうえ提出すること。

\* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。

\* 中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

環境工学委員会用 自己評価欄

## 2013年度 小委員会活動 自己評価

### (中間年度評価)

総合評価 (4段階評価)	A	B	C	D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	当初の予定通り、クールルーフガイドブックを2014年3月に出版した。今後は、クールルーフ普及のためのシンポジウムを、九州、大阪、東京で開催し、ガイドブックの販売促進を図り、クールルーフ技術が一般に浸透するべく、努力する。			

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
  - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
  - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から80%の達成度
  - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から70%の達成度
  - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。